

都内食品産業の状況（規模別・業種別）

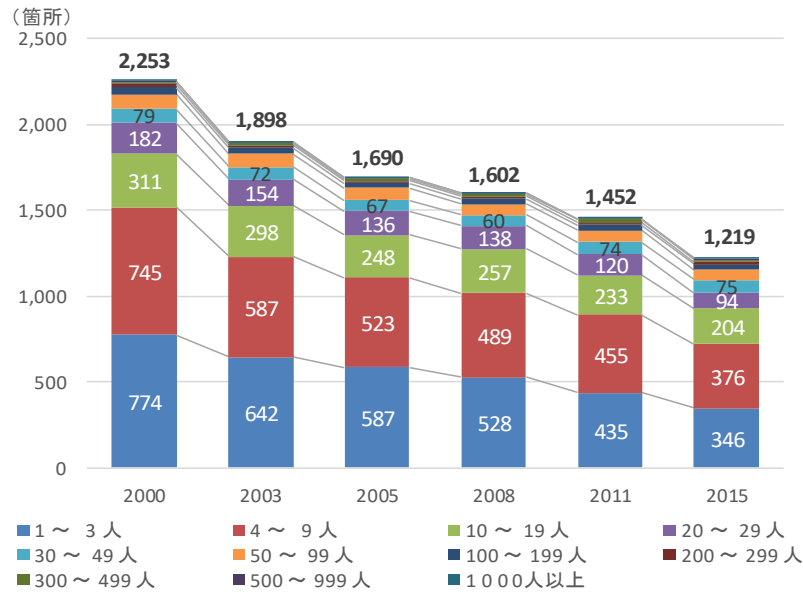
産業労働局

令和元年12月18日

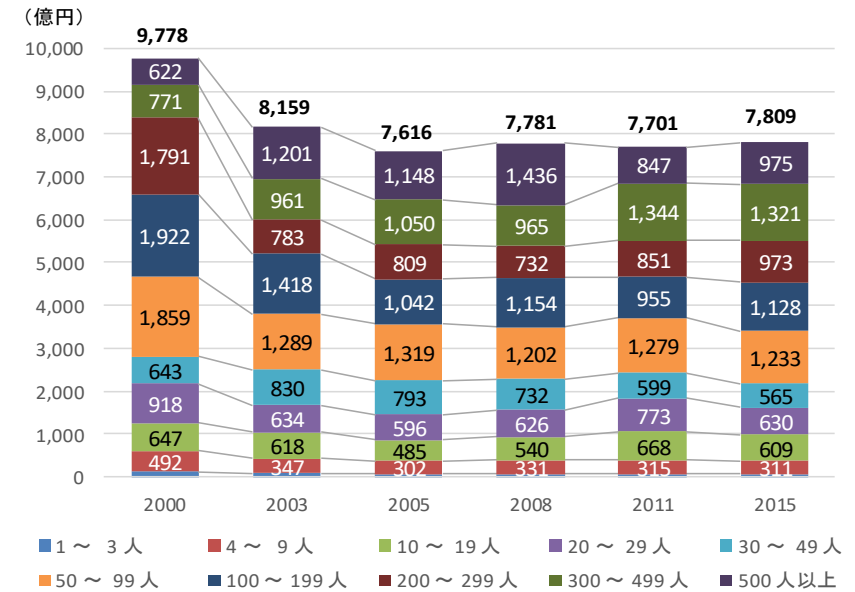
食品製造業の従業者規模別の事業所動向（事業所数・出荷額・付加価値額推移）

- ✓ 2000年から2015年の事業所数の減少幅（▲1,034）のうち、77%が従業者数10人未満の事業所が占める。
- ✓ 出荷額に関しては、合計（従業者数500人以上の事業所を除く）の6割を従業者数50人以上の事業所が占める。

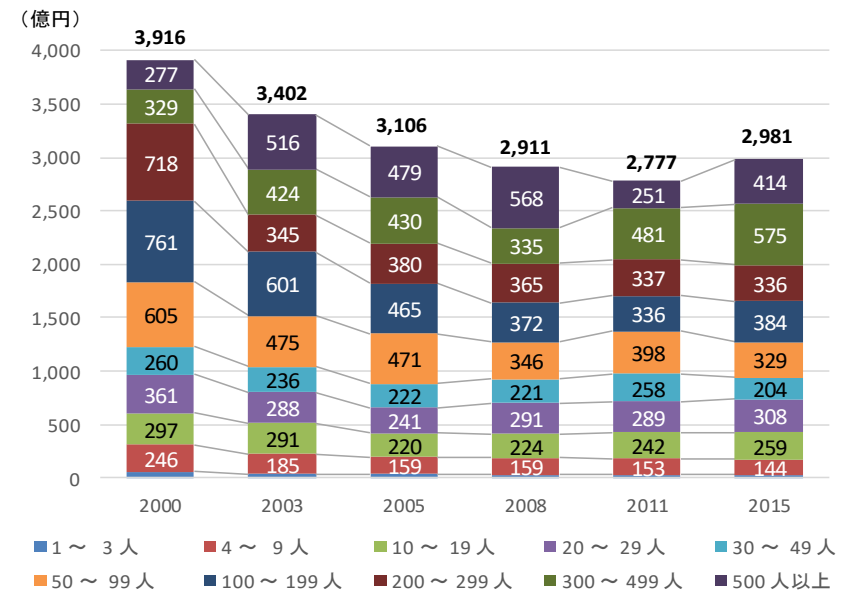
事業所数（従業者規模別）



製造品出荷額等（総額）（従業者規模別）



付加価値額（従業者規模別）



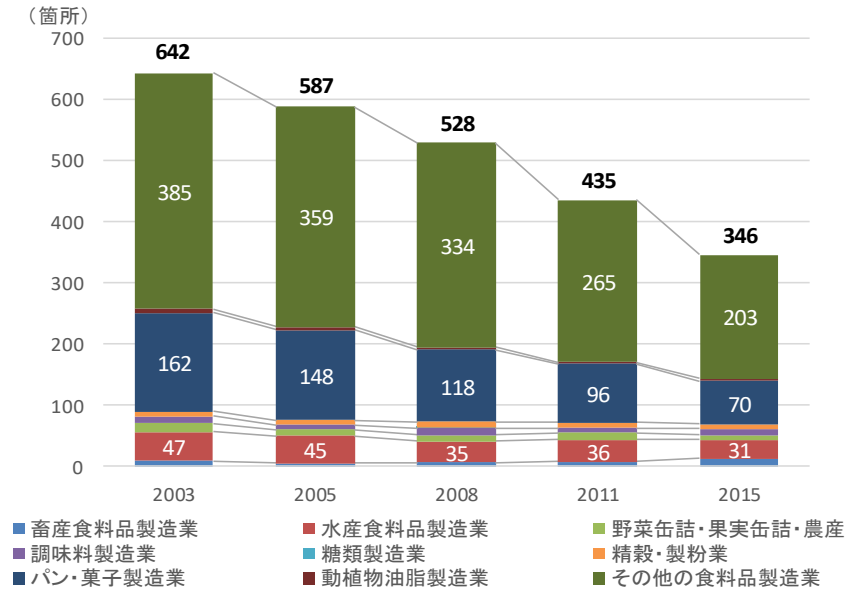
注) 500～999人、及び1000人以上の製造品出荷額等、付加価値額は秘匿と
なっているため、全体合計から規模分類の合計を差し引いたものを、両分類の集
計値として示している。

出典：東京都「東京都の工業 工業統計調査」（2000年～2015年）より作成。

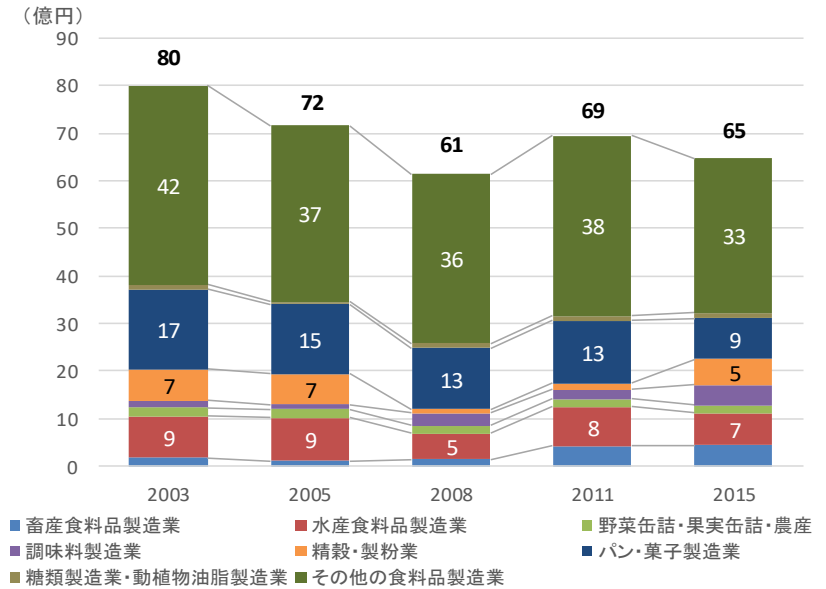
従業者1~3人の食品製造業（小分類別）事業所動向（事業所数・出荷額・付加価値額推移）

- ✓ 従業者1~3人の事業所においては、事業所数・出荷額・付加価値額ともに「麺類、豆腐・油揚げなど、その他の食料品製造業」が半分以上を占め、次いで「パン・菓子製造業」が占める。
- ✓ 従業者1~3人の事業所は12年間で4割強減少。減少幅が大きいのは、「その他食料品製造業」、「パン・菓子製造業」。
- ✓ 出荷額も減少しているが、減少幅は2割弱に留まる。

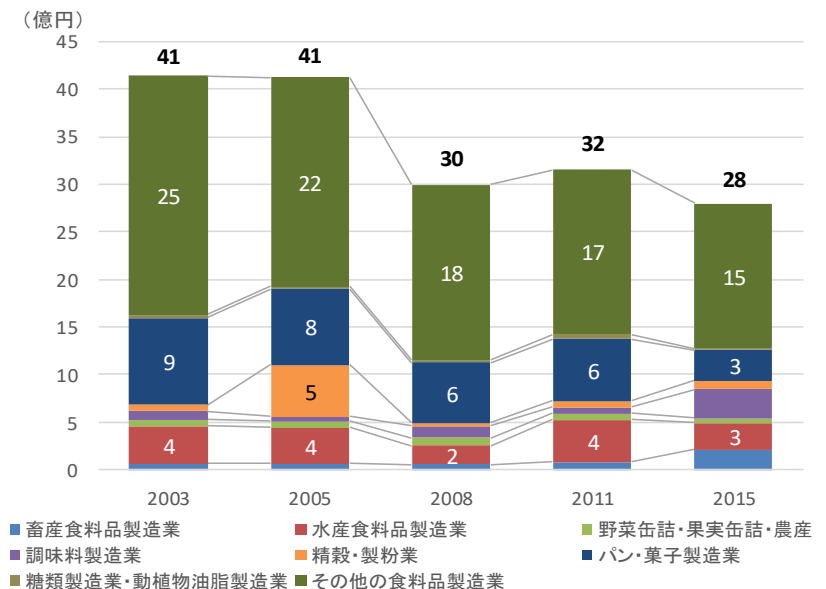
事業所数（従業者1~3人：小分類別）



製造品出荷額等（総額）（従業者1~3人：小分類別）



付加価値額（従業者1~3人：小分類別）



注) 糖類製造業、及び動植物油脂製造業の製造品出荷額等、付加価値額は秘匿となっているため、全体合計から他の小分類の合計を差し引いたものを、両分類の集計値として示している。

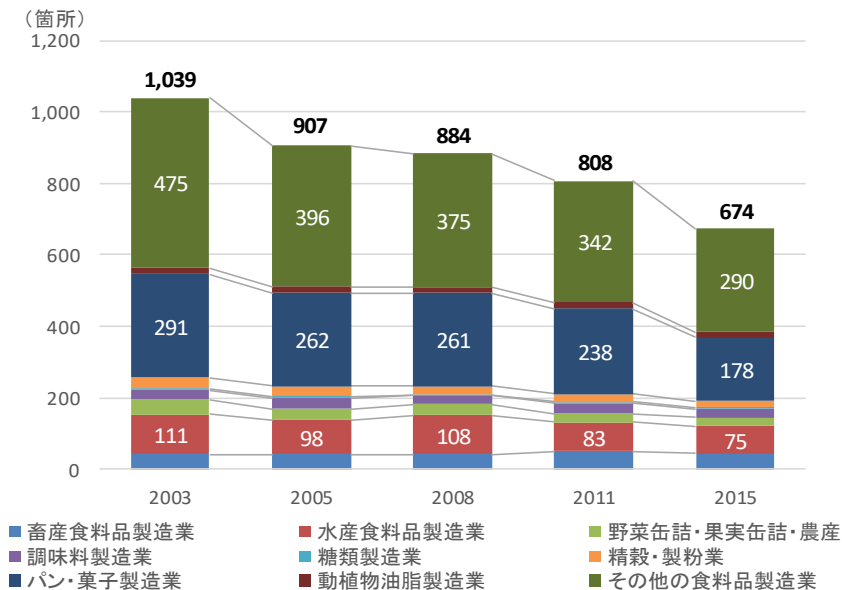
注) 2000年について、小分類別のデータはなし。

出典：東京都「東京都の工業 工業統計調査」（2003年～2015年）より作成。

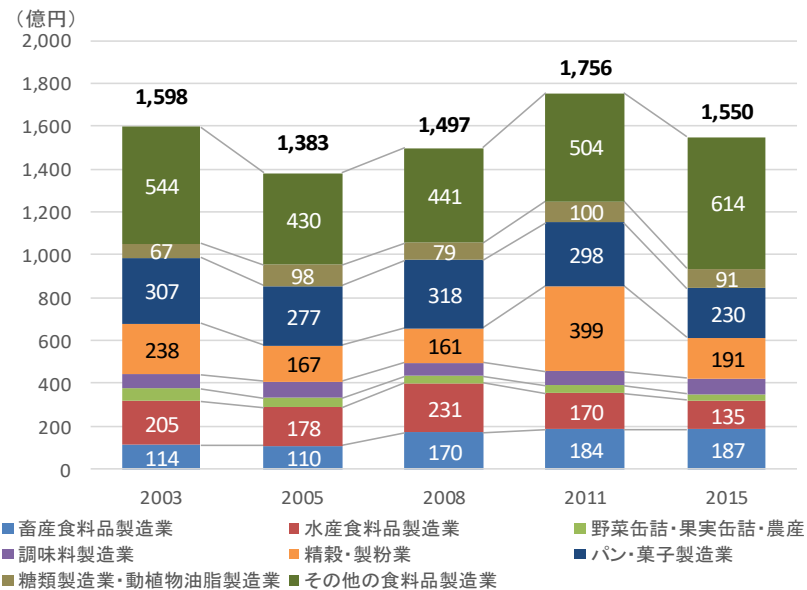
従業者4~29人の食品製造業（小分類別）事業所動向（事業所数・出荷額・付加価値額推移）

- ✓ 従業者4~29人の事業所では、従業者1~3人の事業所と比較して、「その他の食料品製造業」、「パン菓子製造業」の他に、「水産食料品製造業」や「畜産食料品製造業」、「精穀・製粉業」の割合が高まる。
- ✓ 事業所数は減少しているが、出荷額については、概ね横ばい

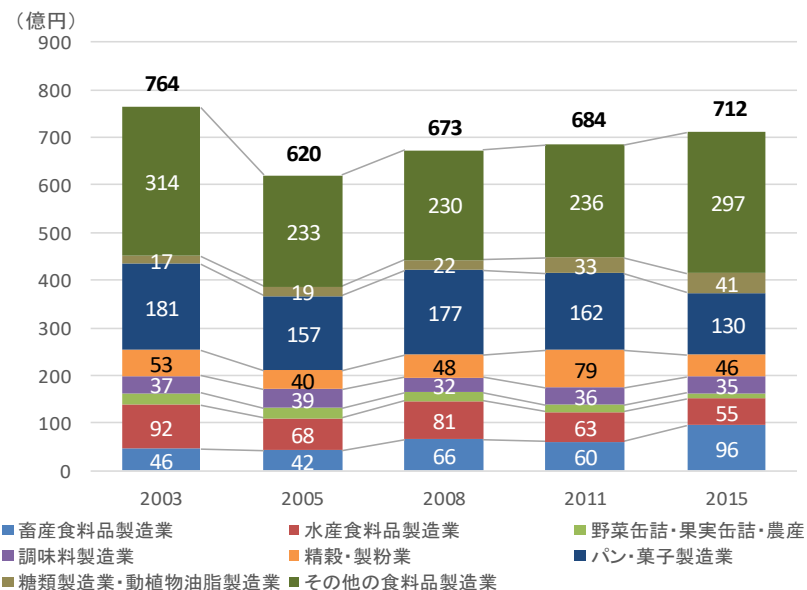
事業所数（従業者4~29人：小分類別）



製造品出荷額等（総額）（従業者4~29人：小分類別）



付加価値額（従業者4~29人：小分類別）



注) 糖類製造業、及び動植物油脂製造業の製造品出荷額等、付加価値額は秘匿となっているため、全体合計から他の小分類の合計を差し引いたものを、両分類の集計値として示している。

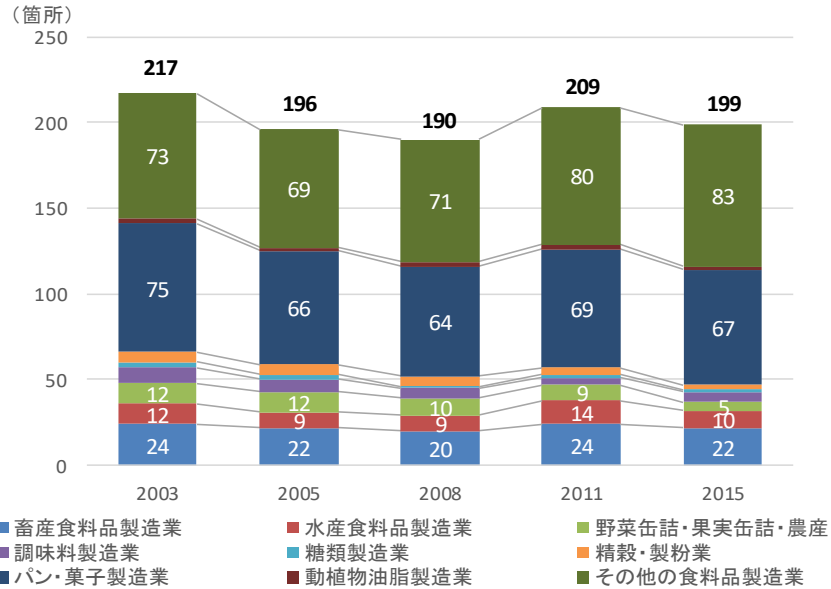
注) 2000年について、小分類別のデータはなし。

出典：東京都「東京都の工業 工業統計調査」（2003年～2015年）より作成。

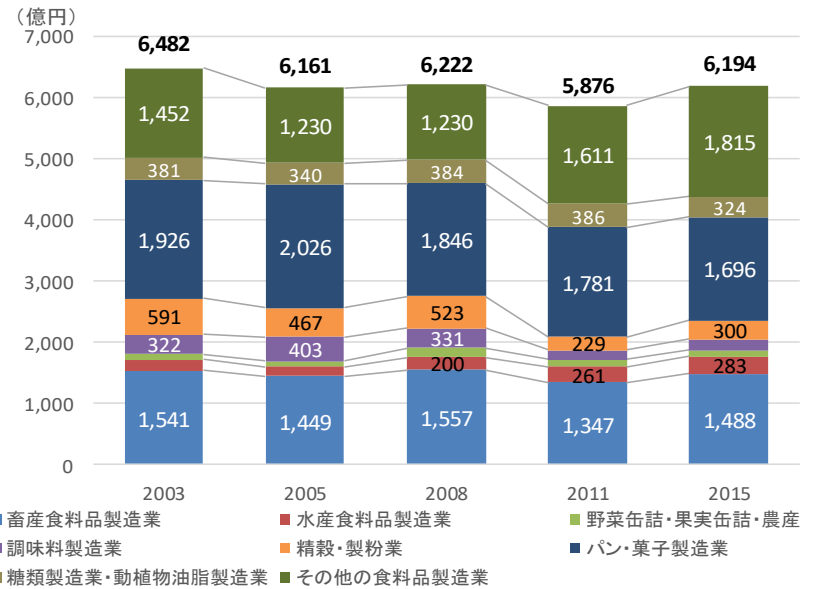
従業者30人以上の食品製造業（小分類別）事業所動向（事業所数・出荷額・付加価値額推移）

- ✓ 従業者30人以上の事業所でも、事業所数は「その他の食料品製造業」、「パン菓子製造業」の2業種で7割程度を占める。
- ✓ 出荷額や付加価値額については、29人以下の事業所と比較して、畜産食料品製造業の割合が高い。

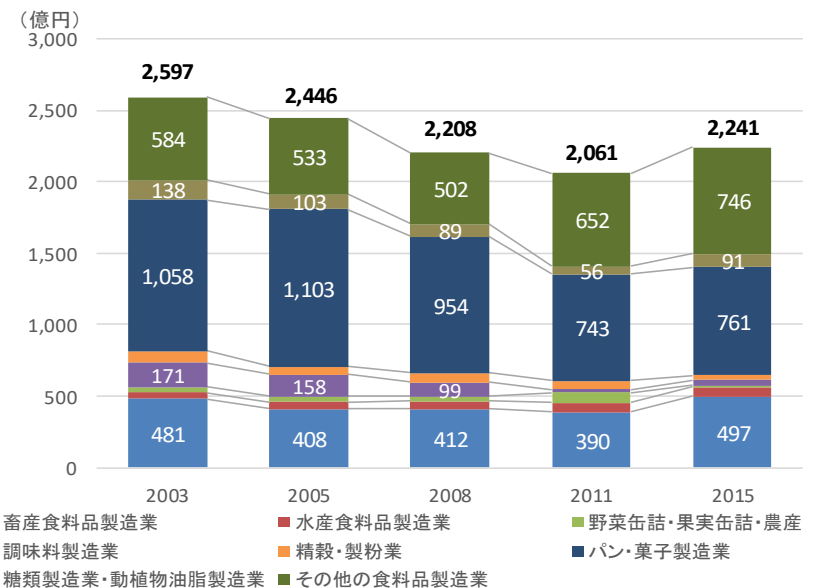
事業所数（従業者30人～：小分類別）



製造品出荷額等（総額）（従業者30人～：小分類別）



付加価値額（従業者30人～：小分類別）



注) 糖類製造業、及び動植物油脂製造業の製造品出荷額等、付加価値額は秘匿となっているため、全体合計から他の小分類の合計を差し引いたものを、両分類の集計値として示している。

注) 2000年について、小分類別のデータはなし。

出典：東京都「東京都の工業 工業統計調査」（2003年～2015年）より作成。

生産地別の輸出品

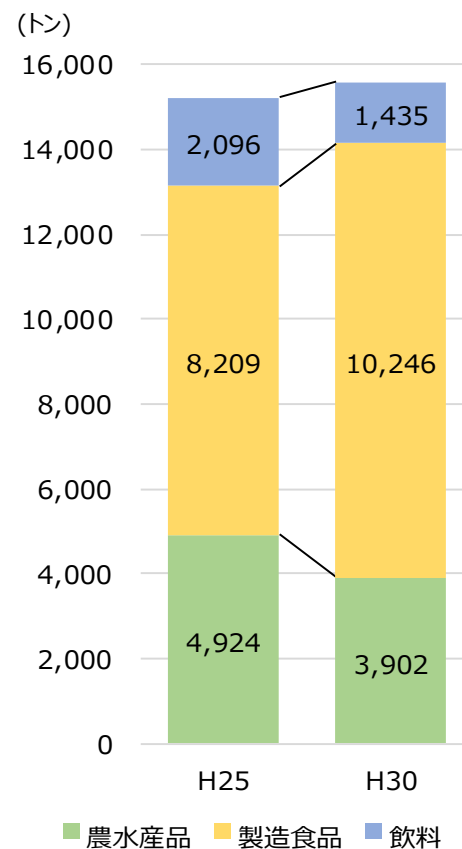
- ✓生産地別品目別貨物量（輸出）をみると、H25～30年の間に、東京都の製造食品は24.8%増加している。
- ✓農水産品や飲料は減少しており、農水産品＋製造食品＋飲料の合計としては横ばいである。
- ✓製造食品についてH30年の輸出貨物量が最も多い生産地は神奈川県（13,323トン、全国比12%）であり、東京都（10,246トン、全国比9.4%）は第3位につけている。東京都は、輸出品は重量ベースでは増加しているが、全国比はH25年の2位から順位を下げている。

生産地別品目別貨物量（輸出）

(単位：トン)

品目	全国			東京			H30年 東京／全国
	H25	H30	(5年変化率)	H25	H30	(5年変化率)	
農水産品	65,456	84,034	28.4%	4,924	3,902	-20.8%	4.6%
製造食品	71,909	108,616	51.0%	8,209	10,246	24.8%	9.4%
飲料	17,870	36,489	104.2%	2,096	1,435	-31.5%	3.9%

東京都の生産地別品目別貨物量（輸出）



製造食品 輸出貨物量が多い生産地のランキング

(単位：トン)

順位	H25			H30		
	都道府県	貨物量	全国比	都道府県	貨物量	全国比
1	神奈川	8,604	12.0%	神奈川	13,323	12.3%
2	東京	8,209	11.4%	愛知	10,750	9.9%
3	兵庫	7,847	10.9%	東京	10,246	9.4%
4	愛知	6,479	9.0%	兵庫	10,171	9.4%
5	千葉	6,247	8.7%	京都	6,080	5.6%

出典：国土交通省「全国輸出入コンテナ貨物流動調査結果」（平成25年、平成30年）

※貨物量には、再輸出貨物を含む。